

ヘレニズム文化

1 特色

(1) アレクサンドロス大王の東方大遠征で誕生。

ギリシャ文化とオリエント文化が融合した文化。



(2) 周辺に大きな影響。

ヨーロッパ文明 やインド(クシャーナ 朝)の
ガンダーラ 美術に影響。

ヘレニズム文化の彫刻



ガンダーラ美術の仏像



2 世界観

(1) **個人主義** ……個人の個性を重視する世界観

ポリス の共同体が崩壊したため。



(2) 世界市民主義 (**コスモポリタニズム**)

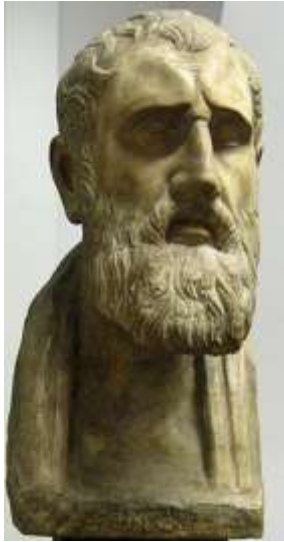
……国際的な世界観

ギリシャ人, インド人, ペルシャ人ともに理性をもつ存在として同質であるという考え。

3 哲学

変化している世界の中でどう生きてらいいのかを
考える学問。

(1) **ゼノン** の **ストア派** → 「**ストイック**」の語源



欲望を断った **禁欲主義** に立って、
理性により心の平安（不動心；**アパティア**）
を得るべきと唱えた。

(2) **エピクロス** の**エピクロス派**



心の完全な平静さを最高の幸福と考える
快樂主義に立って、最低限の欲求(衣食住)
のみを追求するべきと唱えた。贅沢な暮らし、
権力、名声は一切排除して **隠遁生活**を
送った。

4 彫刻

(1)ミロのヴィーナス

- ・美の女神の大理石像。発見当初から両腕がない。



ルーブル美術館

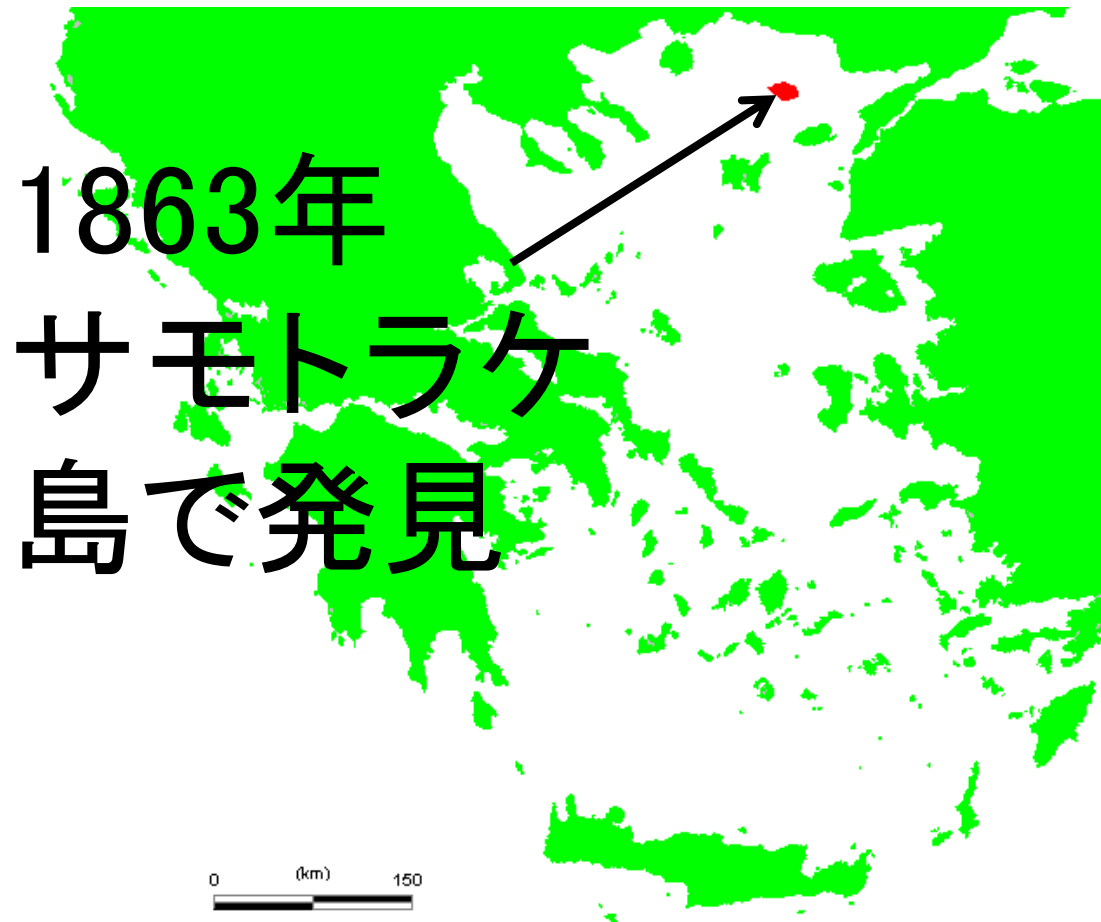


(2) サモトラケのニケ

- ・勝利の女神の像。腕と頭がないが翼がある。



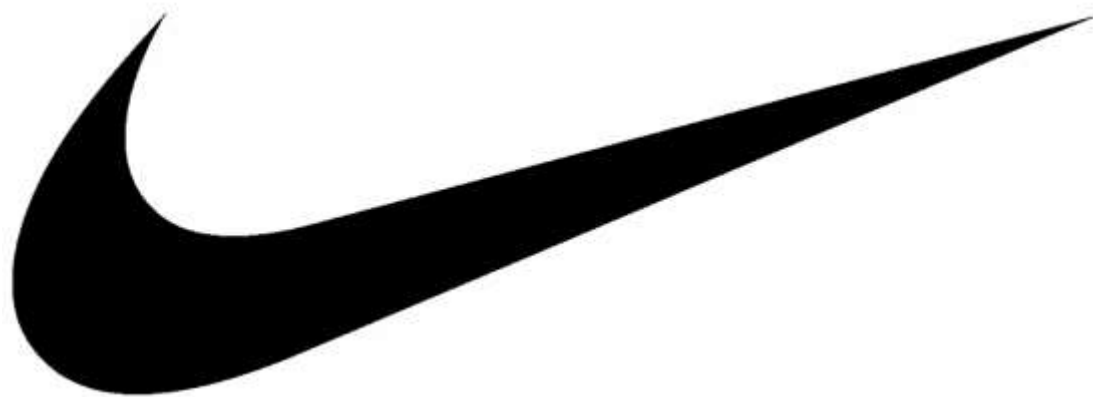
ルーブル美術館



1863年
サモトラケ
島で発見



ナイキの名前の由来はニケ。



(3)ラオコーン像

トロイの木馬がギリシア軍の計略であることを暴露しようとしたトロイの神官ラオコーンが、女神アテナによって遣われた海蛇に襲われる場面を描いている。



1506年トラヤヌス浴場付近（ネロの黄金宮跡）の地中から発見。

バチカン美術館

20世紀の修復以前の腕を伸ばした『ラオコーン像』



(4) 瀕死のガリア人

BC230～220年に、ペルガモン国王アッタロス1世が、アナトリアのガラテア人(ケルト民族)に勝利したのを記念して作らせたといわれる青銅像の、模造。

ローマのカピトリノ美術館

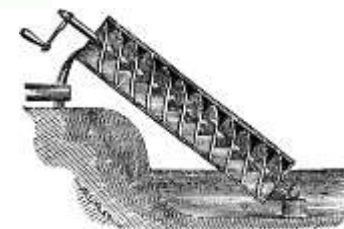


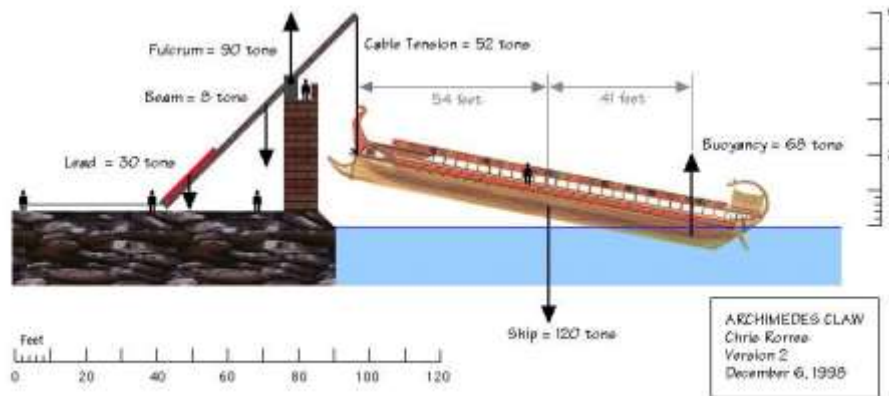
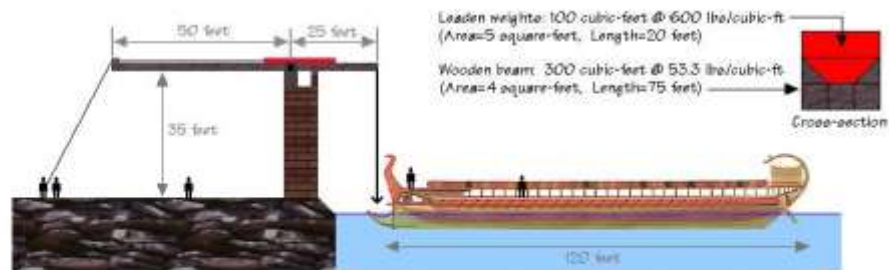
5 自然科学

(1) アルキメデス

シチリア島出身の数学者、物理学者、技術者、発明家、天文学者。

アルキメディアン・スクリュー





ARCHIMEDES CLAW
Chris Korrea
Version 2
December 6, 1995



(2) ユークリッド

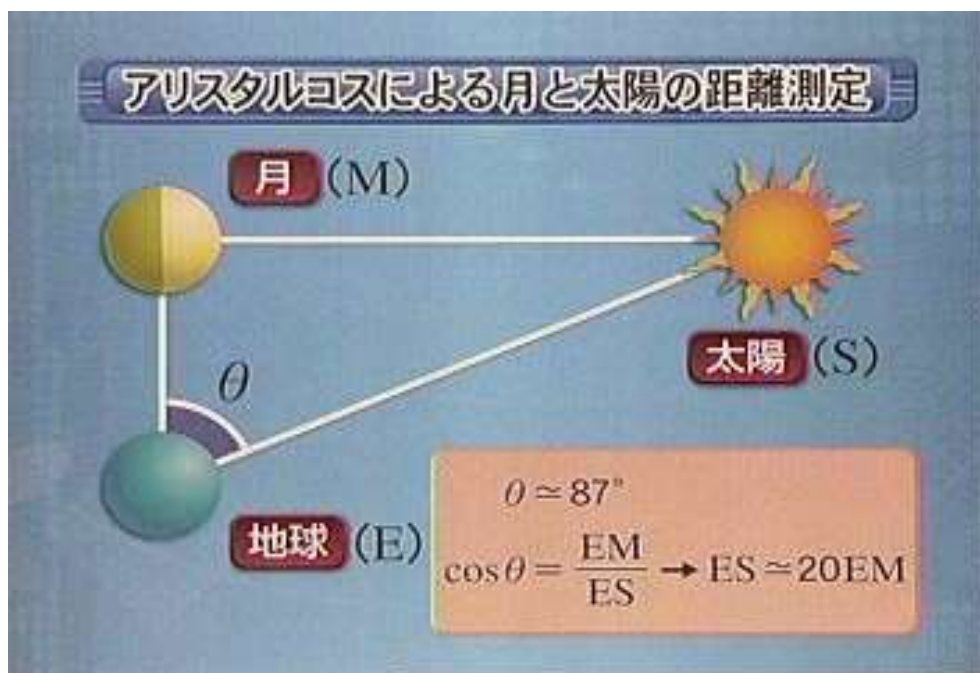
図形に関する様々な性質を研究する数学の分野(幾何学)を集大成した。



エジプト王プトレマイオスが幾何学を学ぶのに簡単にすます道が無いかという問いに対しユークリッドはそんな方法はなく、「幾何学に王道無し」と言ったことからより一般に「学問に王道なし」との言葉も生まれた。ここで王道とは王のみが通れる近道の意である。

(3) アリスタルコス

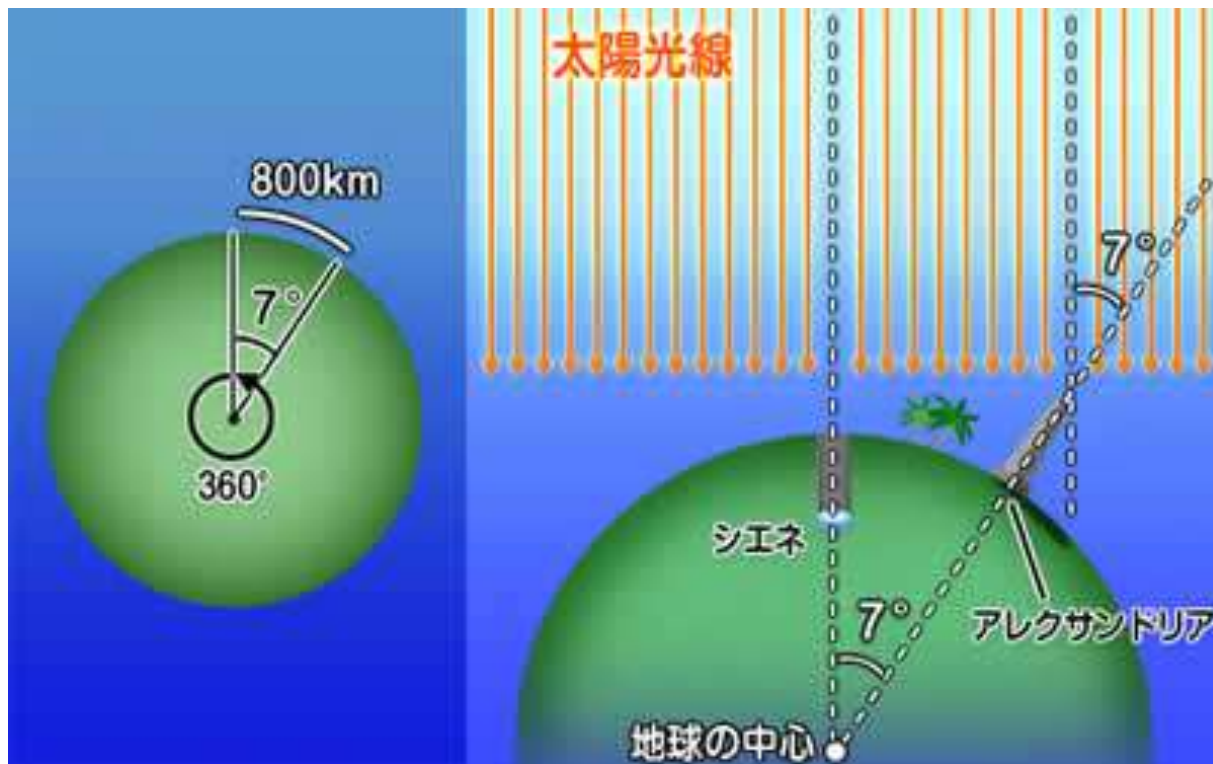
月と太陽のそれぞれの視直径の違いから、貸与うの大きさは月よりはるかに大きく、太陽が地球の周りをまわっているはずがないとした。



はじめて**地動説**を唱える

(4) エラステネス

地球の全周を測定した。



6 学問の行われた場所

アレクサンドリアのムセイオン

古代世界の学問の
中心として学術研究
所。

